

解答はすべて解答用紙に記入し提出して下さい。

# 第1回 簿記定期試験

## 問題用紙

2 級

(制限時間 2時間)

簿記の教室 メイプル

## 第1問 (20点)

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現 金	当 座 預 金	受 取 手 形	売 掛 金
前 払 金	未 収 入 金	手 形 貸 付 金	仮 払 消 費 税
仮 払 法 人 税 等	未 収 消 費 税	土 地	支 払 手 形
買 掛 金	前 受 金	未 払 金	手 形 借 入 金
仮 受 消 費 税	未 払 消 費 税	未 払 法 人 税 等	売 上
受 取 手 数 料	受 取 利 息	固 定 資 産 売 却 益	仕 入
支 払 手 数 料	支 払 利 息	支 払 地 代	旅 費 交 通 費
通 信 費	消 耗 品 費	租 税 公 課	固 定 資 産 売 却 損

- 小口現金係から以下の1週間分の支払報告を受け、支払額と同額の小切手を振り出した。  
電車代 ¥5,000      切手代 ¥3,200      文房具代 ¥1,800
- さきに東京商事㈱から仕入れた商品のうち¥30,000を品質不良のため返品し、代金は同社振出しの小切手で受け取った。
- 取引銀行より¥5,000,000を借り入れるとともに同額の約束手形を振り出して、利息を差し引かれた手取金を当座預金とした。なお、年利率は3%、借入期間は146日であり、1年は365日として計算する。
- 以前に購入していた土地1,000㎡(1㎡あたり¥5,000、及び不動産会社への購入手数料¥200,000)のうち350㎡を1㎡あたり¥6,000で売却し、代金は翌月末に受け取ることにした。
- 決算にあたり、消費税の還付額を計算し確定した。なお、仮払消費税勘定残高は¥1,860,000、仮受消費税勘定残高は¥1,310,000であった。

## 第2問 (12点)

次の[資料]にもとづいて、答案用紙に示した各勘定について、[ ]には適切な語句を、( )には金額を記入して、損益勘定以外の各勘定を締切りなさい。なお、売上原価は仕入勘定で計算する。また、当期中の仕入、仕入戻し、売上および売上戻りは、便宜上、全部まとめて記帳する。

[資料]

期首商品棚卸高	¥ 340,000	総 仕 入 高	¥4,328,000
仕 入 戻 し 高	¥ 128,000	総 売 上 高	¥7,112,000
売 上 戻 り 高	¥ 212,000	期末商品棚卸高	¥ 360,000

## 第3問 (30点)

次に示した千代田商事(株) (決算年1回、12月末決算) の[資料Ⅰ]と[資料Ⅱ]にもとづいて、答案用紙の×3年1月31日の合計試算表を完成しなさい。

## [資料Ⅰ] 前期末貸借対照表

資 産	金 額	負債・純資産	金 額
現 金	162,000	支 払 手 形	225,000
当 座 預 金	1,365,000	買 掛 金	289,000
受 取 手 形	274,000	前 受 金	59,000
売 掛 金	326,000	未 払 費 用	15,000
商 品	127,000	貸 倒 引 当 金	18,000
従 業 員 立 替 金	50,000	備 品 減 価 償 却 累 計 額	540,000
前 払 費 用	45,000	資 本 金	3,250,000
備 品	1,000,000	繰 越 利 益 剰 余 金	453,000
貸 付 金	1,500,000		
	4,849,000		4,849,000

## [資料Ⅱ] 1月中の取引

- 1日 再振替仕訳を行う。なお、貸借対照表中の前払費用は前払保険料、未払費用は未払家賃である。
- 4日 台東商事(株)から商品¥312,000を仕入れ、代金のうち¥112,000については小切手を振り出して支払い、残額については同社あての約束手形を振り出した。
- 5日 新宿商事(株)に商品¥440,000を売り渡し、代金のうち¥44,000についてはさきに同社から受け取っていた手付金と相殺し、残額については掛けとした。なお、発送費¥3,000については現金で支払った。
- 6日 台東商事(株)に対する買掛金¥100,000の支払を電子債権記録機関で行うため、取引銀行を通じて債務の発生記録を行った。
- 7日 電話代¥40,000が当座預金口座から引き落とされた。
- 8日 得意先杉並商事(株)が倒産し、前期に同社に商品売り渡した際に生じた売掛金¥16,000が貸倒れとなった。
- 10日 足立商事(株)から商品¥210,000を仕入れ、代金のうち¥90,000については小切手を振り出して支払い、残額については掛けとした。
- 11日 中央商事(株)に商品¥370,000を売り渡し、代金のうち¥270,000については同社振出し、当社あての約束手形で受け取り、残額は掛けとした。
- 12日 従業員の出張にあたり、旅費の概算額¥60,000を渡すため、小切手を振り出した。
- 13日 取引銀行より、出張中の従業員から¥240,000が当座預金口座に振り込まれた旨の通知があった。しかし、その内容は不明である。
- 14日 10日に足立商事(株)から仕入れた商品の一部が汚損していたため、¥20,000分の返品を請求したところ、承諾され、同社に対する買掛金と相殺することとした。
- 15日 さきに江東商事(株)あてに当社が振り出していた約束手形¥130,000について、支払期日に当座預金口座から引き落とされた。

- 17日 出張中の従業員が帰社し、旅費交通費の精算を行い、現金で残金¥5,000の返済を受けた。また、13日の当座預金口座への振込みの内訳は、得意先中央商事(株)に対する売掛金の回収分¥180,000と、同社から新たな注文を受けたことにもなう手付金¥60,000であるとの報告を受けた。
- 19日 江東商事(株)から商品¥170,000を仕入れ、代金のうち¥100,000については同社あての約束手形を振り出し、残額は掛けとした。なお、引取運賃¥5,000については現金で支払った。
- 20日 当月分の従業員の給与総額¥240,000のうち、所得税の源泉徴収額¥30,000と従業員への立替金の一部¥25,000を差し引き、手取金を当座預金口座から従業員の預金口座に振り込んだ。
- 22日 中央商事(株)に商品¥660,000を売り渡し、代金のうち¥60,000についてはさきに同社から受け取っていた手付金と相殺し、¥400,000については電子債権記録機関から取引銀行を通じて債権の発生記録の通知を受け、残額は掛けとした。
- 25日 得意先渋谷商事(株)に対する貸付金¥500,000が満期をむかえ、利息¥10,000とともに当座預金口座に振り込まれた。
- 28日 さきに中央商事(株)から受け取った約束手形¥270,000について、取引銀行より当座預金口座に入金された旨の連絡を受けた。
- 31日 1年分の家賃¥180,000を小切手を振り出して支払った。

#### 第4問 (8点)

次の文の(ア)から(ク)に当てはまる適当な語句を記入しなさい。

- 得意先元帳は、得意先ごとの(ア)の増減を記録する補助簿である。
- 貸借平均の原理にもとづき、総勘定元帳への転記が正しく行われたかどうかを確認したり、期末の決算手続を円滑に行うために作成する表を(イ)という。
- 有形固定資産の取得原価から減価償却累計額を差し引いた金額のことを(ウ)という。
- 貸倒引当金は売掛金から差し引く形で貸借対照表に表示する。これは、貸倒引当金が売掛金の(エ)勘定だからである。
- 3分法における売上原価の計算方法として、仕入勘定を用いて計算する方法の他に(オ)勘定を用いて計算する方法もある。
- 簿記上、現金として処理するものは、通貨、他人振出小切手、郵便為替証書、(カ)、配当金領収証、期限が到来した公社債の利札がある。
- 決算時に当座預金勘定が貸方残高になっていた場合は、当座借越勘定あるいは(キ)勘定に振り替える。
- 有形固定資産に対して支出を行うことで、有形固定資産の価値が増加するとか使用年数が延びる場合のことを(ク)支出という。

#### 第5問 (30点)

答案用紙の精算表を完成しなさい。ただし、売上原価の計算については、精算表の「仕入」の行で行うこと。なお、現金過不足のうち、受取手数料の記入もれだけが決算日までに判明した。